

Amir Tsarfati 氏 2018 年 12 月 4 日公開
 イエスとナザレ：故郷では栄光なき預言者

.....

私達は今、こんにちのナザレを見下ろす場所に立っています。
 皆さん、よく理解しておいてください。こんにち、ここはアラブ人の町です。
 実際には、イスラエルに住むアラブ人の首都で、彼らの政党は、全てここに位置しています。
 またアラブ社会は、イスラエル人口の約 20%ですが、その指導者達にとってナザレは、非常に重要な場所
 です。



ナザレの町を背景に（動画より）

そうすると、「なぜ、ナザレが聖書に出てくるのか？」と疑問が起こるでしょう。
 ここが聖書に登場した時は、アラブ人の町ではなかったことは確かです。
 補足として、皆さんにお伝えしますと、
 最近、私達は石を発見しました。私も、今日、読んだばかりですが、その石は、紀元前 1 世紀のもので、ヘ
 ブル語で刻印がありました。

「**יְרוּשָׁלַיִם**」エルサレム

なぜ、こんなことを言うかといえば、この国、これらの町々、これらの名前は全てユダヤのもので、全てイ
 スラエルの人たちの一部です。
 イスラムが生まれる、はるか以前から、また、アラブ人たちがこの地と関わるずっと以前から。
 事実、ネヘミヤ記を見てください。
 預言者ネヘミヤは、王から勅令と許可を得て、材料と労働者を連れて行き、再建しようとしたのは？
 最初に都、そして城壁、それから神殿です。
 それから、一つ言っても良いですか？働いている時、道中で彼を見たのは、誰でしたか？
 アモン人と、アラブ人です。そして彼らは、何と言いましたか？
 「何をしているんだ？ そんなことをしてはいけない！こんな荒廃したところで、何をしているんだ？
 なぜ、こんな場所にそんなに関心があるんだ？」
 聖書には、ネヘミヤ 2:19 に、こうあります。

19 ところが、ホロ二人サヌバラテと、アモン人で役人のトビヤ、および、アラブ人ゲシムは、
 これを聞いて、私たちがあざけり、私たちがさげすんで言った。
 「おまえたちのしているこのことは何だ。おまえたちは王に反逆しようとしているのか。」

（ネヘミヤ 2:19）

彼らは、エルサレムに行って城壁を再建するのは、王への反逆だと思ったのです。
 実際には、王がネヘミヤにこれを認めたことを、彼らは理解していませんでした。王は、これはネヘミヤの
 DNA の一部なのだ気付いたのです。ネヘミヤの顔はものすごく悲しげで、ネヘミヤが元の喜びを取り戻す
 ために、唯一、王に出来たことは？

「分かった。行って再建しなさい。でも忘れずに戻って来なさい。私たちには、あなたが必要なんだ。」
そしてネヘミヤが、アラブ人と、アモン人と、ホロン人に言った言葉を見てください。

20 **そこで、私は彼らにことばを返して言った。「天の神ご自身が、私たちを成功させてくださる。そのしもべである私たちは、再建にとりかかっているのだ。しかし、あなたがたには（彼は、アラブ人達にいます。）エルサレムの中に何の分け前も、権利も、記念もないのだ。」**

(ネヘミヤ 2:20)

これが、聖書の中にあるのです。

聖書は、故国へ帰りたいという想いは、ユダヤ人の DNA だと告げているのです。

彼らが遠く離れている時、——ダニエルを見てください。彼は切望していて、帰還への日を指折り数えていたのです。ネヘミヤを見てください。彼は、悲しくて、暗い表情をしていました。

ですから興味深いのは、主が、民を彼らの故国へ戻しておられると、周辺の者達が全員、彼らのことを嘲笑っています。

「何をしてるんだ！これは、違法じゃないか！」

しかし、ネヘミヤが実際に振っていた法的文書は何でしたか？主です。

「神ご自身が、私たちを成功させてくださる。」

しかしあなたたちは、あなたがたは、この地のことなど何とも思っていないじゃないか！

あなたたちには、エルサレムの中に領分もなければ、それに対する権利も記録もない。あなたたちには、何もない！だから、あなたがたは、決して私たちの心を理解することはない。あなたたちには、絶対に理解できない。

では、しばらくネヘミヤの聖句は横に置きましょう。これで、この地はイスラエルのものだということが、少しはご理解いただけたでしょう。

それから、イスラエルの人たちの、ここにいたい、ここに住みたいと切望する想いも。

私達は今、非常に大きく賑やかな町を見えています。ところで、ここは最大のアラブ人街で、4万人以上がここに住んでいます。他の世界から見れば、そこまで大きくないかも知れませんが、ここでは非常に大きく、また大都会です。そして現在、90%がムスリムです。モスクがいたる所に見えるでしょう。

ただ皆さんにお伝えしたいのは、イエスの時代、ここは小さく、ちっぽけで、全く取るに足りないユダヤ人の村でした。あまりに取るに足りなかったため、重要なガリラヤの都市や村を全てリストにした、ヨセフス・フラウィウスは、ここには触れもしませんでした。

だから、カナのナタナエルは言ったのです。

46 …「ナザレから何の良いものが出るだろう。」…

(ヨハネ 1:46)

あの、人の少ない小さな所から？

ところで、ここには小さな泉があって、それによって、人が住めるのです。

次に、イエスが彼ご自身について言われたことに戻りたいと思います。イエスはこう言われました。

44 …「…わたしについてモーセの律法と預言者と詩篇とに書いてあることは、必ず全部成就する」

(ルカ 24:44)

では皆さん、指に唾をつけて、預言書イザヤの 11 章を開いてください。

ところでイザヤ書 11 章は、少なくともその始め部分は、後の 61 章でほぼ繰り返されています。

ただ、皆さんに知っておいて欲しいのは、これは、確実にメシアについて書かれた聖句で、イザヤは 11 章で次のように告げています。これ、聞いてください。

1 エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。

(イザヤ 11:1)

ヘブル語で「枝」は、「נֶצֶר ne-tzer」

皆さん全員に、ヘブル語/英語の聖書をお渡ししましたね？

そのイザヤ書 11 章を開いて、「枝」という言葉を見ると、「נֶצֶר ne-tzer」が出てきます。これは、ナザレの語源です。「נָצְרַת nazaret」

「ナザレ」は「枝」という名を持つのです。「枝」は「ナザレ」

言い換えれば、彼の育ちは…生まれではありませんよ？

育ちはここでなければならぬ、ということです。

彼は「ナザレのイエス」と呼ばれました。「ベツレヘムのイエス」ではありません。

彼は、ベツレヘムで生まれなければなりません。なぜか？

それは、ミカが「メシアはベツレヘムで生まれる」と言ったからです。

もう一つ、彼がそこで生まれなければならなかったのは、彼の出身部族が？ユダ部族だから。

彼らは、元々の出身地に戻らなければなりません。

ですから、ユダ族の獅子は、ユダ族に生まれましたが、彼はナザレ出身で、ここで育ちました。

そして当時ナザレは、本当に小さな村でした。

しかし預言者イザヤは言いました。

エッサイ、ダビデの父親の家族から、ダビデの家から、枝が出る、と。

その枝は、ただの植物の枝ではありません。これは、人です。

ところで、聖書は、多くの箇所であるものを指しながら、異なる別のものを表します。時に、物が人間を表している事があります。

何か人ではないものが、人を表している例をあげられますか？

反キリスト、覚えていますか？

ダニエルは言っています。獣が出る、10本の角を持つ大きな獣だ、と。

10本の中から1本出てきて、3本が引き抜かれます。そして、その一本は大きくなり、彼は大きなことを語る。つまりこの角とは、人間を表しているということです。

そしてこの枝は、聖書がこの枝について何と語っているか、見てください。

- 2 その上に、主の霊がとどまる、それは知恵と悟りの霊、はかりごとと能力の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。
- 3 この方は主を恐れることを喜び、その目の見るところによってさばかず、その耳の聞くところによって判決を下さず、
- 4 正義をもって寄るべのない者をさばき、公正をもって国の貧しい者のために判決を下し、

(イザヤ 11:2-4a)

ここで止まります。

なぜかというと、イエスの再臨では、彼は、

4 口のむちで国を打ち、くちびるの息で悪者を殺す。

(イザヤ 11:4b)

これは、彼の再臨です。

これは、彼が言われた事です。

「わたしは、最初に来る。初臨は世界を救うため、そして二度目は、裁きのため」

です。ですからイザヤは、すでに私たちにヒントを与えています。彼は、ナザレと呼ばれる場所から来る。ナザレは、「枝」という言葉をその名に含んでいる。

「נֶצֶר ne-tzer/枝」「נָצְרַת nazaret/ナザレ」

そして面白いのが、これはイザヤ 11 章で、そこからずっと後ろに行って、イザヤ 61 章を見れば、全く同じ言葉で、ここでは第一人称です。

- 1 神である主の霊が、“わたし”の上にある。主は“わたし”に油をそそぎ、貧しい者に良い知らせを伝え、心の傷ついた者をいやすために、“わたし”を遣わされた。捕われ人には解放を、…

(イザヤ 61:1 “” は訳者補足)

このように、ここでイザヤが言っているのは全て、メシアがどのような方であるか、ということ。

そして 50 章後の 61 章では、これが第一人称になっているのが分かります。

では、なぜこれが、それほどまでに重要なのか？それは、ルカの福音書 4 章で起こったことを見てください。

- 16 それから、イエスはご自分の育ったナザレに行き、

(ルカの福音書 4:16a)

彼はここで育ちました。彼はここで働き、ここで遊んで、ここで子ども時代を過ごされました。

それから彼は、大工として彼のお父さんと一緒に働き始めました。当時、ツファットといった他の大きな都市が、周辺に建てられていて、おそらく彼はそこで働いたのでしょう。

しかし、一旦、彼の公生涯が始まると、彼は去りました。

時に、ミニストリーのために、あなたは外に出ることがあります。

時に、主に従うためには、お父さんやお母さんから離れなければなりません。

アブラハムのことを考えても、彼は自分の祖国と父母、全てを離れて、神が示された場所へ行かなければなりませんでした。

しかし、この場合は、イエスは戻って来られた、と聖書は告げています。それから、イエスはご自分の育ったナザレに行き、

- 16 いつものとおりに安息日に会堂にはいり、朗読しようとして立たれた。

(ルカの福音書 4:16b)

ですから、シナゴークでは、立ち上がると読み、座ると？教えます。

それを覚えていてください。

ということで、彼は立ち上がって読みました。では、彼が読んだのは、どの箇所だと思いますか？

ここには、巻き物が手渡された、と書かれています。

当時、誰も聖書を所有しませんでした。

巻物は、クローゼットの中に入っていました。エルサレムに面している主要な壁に取り付けられた 契約の箱のようなものです。

そして、案内係が彼に巻き物を渡し、イエスが巻き物を開きました。

聖書は、この巻き物の書には、「わたしのことについて書かれている」と告げています。

皆さんや私が持っているような、革のカバーのついた本ではありません。

ということで、イエスが開かれると、バーン！

イザヤ書 61 章を読まれました。聖書は告げています。

- 17 …その書を開いて、こう書いてある所を見つけられた。

- 18 「“わたし”の上に主の御霊がおられる。

主が、貧しい人々に福音を伝えるようにと、“わたし”に油を注がれたのだから。

主は“わたし”を遣わされた。捕われ人には赦免を、盲人には目の開かれることを告げるために。しいたげられている人々を自由にし、

- 19 主の恵みの年を告げ知らせるために。」

(ルカの福音書 4:17b-19 “” は訳者補足)

それから彼は、この先を読まれませんでした。

主の復讐や、その息で滅ぼすことなどについて書かれている箇所。これはまだ、彼がそのために来たのではないからです。

それから、どうなったか見てください。何が起こったか見てください。

20 イエスは書を巻き、

(ルカの福音書 4:20a)

当時、書を巻くというのは、こんな風に本を閉じるのではなく、巻き物の両端を持って、元どおりに巻いていくのです。そして、

係の者に渡してすわられた。

(ルカの福音書 4:20b)

イエスが座ると、何が起こるのか？

彼が教えることが、期待されます。そこで、聖書は告げています。

会堂にいるみな目の目がイエスに注がれた。

(ルカの福音書 4:20c)

想像できますか？これがもし、大して重要な内容でなければ、彼が読んだ後、皆、家に帰って好きなことをしたでしょう。うわさ話をしたり、食事を食べたり、あれやこれやと。

「お仕事は何をしてるの？」「私の息子は医者でね。」

「私の息子は教授よ。」「私の息子は弁護士よ。」とかなんとか？

違います！

皆が、惹きつけられて、誰もの目が彼に注がれたのです。

彼が何かを言おうとされていることは、皆、分かりました。

そして、彼が言ったことを見てください。

21 イエスは、人々にこう言って話し始められた。

「きょう、聖書のこのみことばが、あなたがたが聞いたとおりに実現しました。」

(ルカの福音書 4:21)

どの聖書のみことばですか？メシアに関するみことばです。

それが？実現した。

いつ？今日。

どのようにして？今、聞いた通りに。

「イザヤが語っているのは、わたしのことだ。」

皆さんの多くが、ユダヤ人たちがイエスを拒絶した理由を誤解しています。

事実、皆さんの 90%か、さらにそれ以上が、ユダヤ人たちはイエスをメシアとして受け入れなかったのだ、と信じているでしょう。それは真実ではありません。

彼は今、「わたしはメシアだ」と言われました。

そして彼は、「今日、あなたがたが聞いたとおりに実現しました。」と言ったのだから、皆さんは、彼らが次に何をすると思いますか？

彼らが彼を掴んで、処刑すると思うでしょう？

彼らがしたことを見てください。

22 みなイエスをほめ、その口から出て来る恵みのことばに驚いた。

そしてまた、「この人は、ヨセフの子ではないか。」と彼らは言った。

(ルカの福音書 4:22)

言い換えれば、彼らは、何も問題を感じなかったのです。

そこの建物の一つ、もちろん中心は教会で、あそこの教会が見えますか？黒い円すいの？

あそこが、「受胎告知」の教会です。窓のある大きな建物が、町の中心で、それから、黒い円すいの教会が、あそこにあります。あれが、マリアに捧げられた教会で、「受胎告知教会」と呼ばれます。



受胎告知教会

あそこで、以前、大天使がキリストの誕生をマリアに告げました。

我々は、古代ナザレの一部を見つけたのです。

それから我々は、泉を見つけ、さらには建物も見つけ、おそらく、シナゴークだったのではないかと我々は思っています。

でも、もうそれがシナゴークだったとは分かりません。今は、騒々しい市場になっていますから。

ただ、皆さんにお伝えしたいのは、人々がイエスに食ってかかったのは、彼が、イザヤが言っていたのは、わたしのことだ、と言った時ではありません。

実際には、人々は彼に好感を持ちました。面白くないですか？

さて、ここから、彼らが彼を拒絶し、その理由が分かります。

どうか、よく注意して聞いてください。なぜなら、これは皆さんのほぼ全員に関わる事ですから。

良いですか？

イエスは、彼らを見ておられました。イエスには、あなたの考えている事が分かります。

あなたが分かっているかどうかは、分かりませんが、彼は、ご存知です。

今、この瞬間に、皆さんの頭の中を駆け巡っていることの全て、たった今、皆さんが私に関して考えた、その悪い思いでさえ、彼はご存知です。

彼は声が大きすぎる、彼は喋り過ぎだ、暑い！！とか。何であれ、彼はご存知です。

そして彼は、そこで彼らが何を考えているのかも分かっておられました。彼らが考えていたのは、

「この人は、良い人だ。」 「だが、御言葉はもう良い。奇跡を見せろ！」

そこで

- 23 イエスは言われた。「きっとあなたがたは、『医者よ。自分を直せ。』というたとえを引いて、カペナウムで行われたと聞いていることを、あなたの郷里のここでもしてくれ、と言うでしょう。」
(ルカの福音書 4:23)

言い換えれば、「わたしは、あなたが何を考えているのか知っている。」

「わたしが、病気の人や、盲目の人、足のなえた人を癒し、人をよみがえらせたのなら、あなたがたはここでも、わたしにして欲しいのだろう。」

わたしは、びっくり箱だ！しかし、悪い知らせだ。それは要点ではない。

要点はこれだ。よく聞きなさい。」

- 24 また、こう言われた。「まことに、あなたがたに告げます。

(ルカの福音書 4:24a)

イエスが、「あなたがたに告げます。」と言われる時は、しっかりと聞いた方がいい。

言い換えれば、神が、今、あなたに語っておられるのです。

ですから、今、神が語っておられます。

神が、これまでに、孔子や仏陀の教えを使ったことがありますか？

神は、これから、それらを使われるでしょうか？いいえ。

神の御言葉を説明しようとする時に、絶対に、こういった人たちを使わないでください。

もし神の御言葉を説明したいなら、神の御言葉を使ってください。

ですから、イエスは彼らに言うておられます。

25 …エリヤの時代に、三年六か月の間天が閉じて、全国に大ききんが起こったとき、イスラエルにもやもめは多くいたが、

26 エリヤはだれのところにも遣わされず、シドンのサレプタにいた、やもめ女にだけ遣わされたのです。

27 また、預言者エリシャのときに、イスラエルには、ツアラアトに冒された人がたくさんいたが、そのうちのだれもきよめられないで、シリヤ人ナアマンだけがきよめられました。」

(ルカの福音書 4:25-27)

はい。なぜ、彼はこう言われたのか？彼は、基本的には、こう言うておられます。

救いは、所属によるのではないのだ。

あなたがたはイスラエルの一部になれても、だからと言って神は、イスラエルの中のやもめだけを癒すのではない。

あなたがたはイスラエルの一部になれても、だからと言って神は、イスラエルの中のツアラアトに冒された人だけを癒すのではない。

シドンのサレプタに、信仰のある女がいて、そして彼女のところへはエリヤが行きましたね。覚えていますか？

それから、ナアマンという男がいて、彼はシリヤ人でツアラアトに冒された人だったが、彼のところに、エリシャが行きました。

言い換えれば、出生証明書に書かれている「ユダヤ人」という言葉は、あなたの救いに関しては何の意味もない！

そこで今、皆さん全員にお伝えしたいのは、あなたがどこにしようと、

もしあなたが、クリスチャンと呼ばれる家庭に生まれたとして、カトリックであれ、正統派であれ、聖公会であれ、何であれ、それは何の意味もありません。

あなたは、救われていません。救いは所属ではありません。

あなたのお父さんやお母さんが、ある特定の氏族に属していても、あなたは天国には行けません。

ここではカースト制度はありません。ここは「あなたに出来ることなど何もない」と信じている、インドではありませんから。

さらに踏み込んで言えば、

クリスチャンの教えの中でも、「選び」に関する教えをよく調べてみてください。

なぜかと言えば私は、神が、あらかじめ地獄へ送る人を定めておられるとは信じていませんから。

私は、そうは信じません。神は、その予知能力から、誰が選ぶか、誰が選ばないかをご存知である、と私は信じていますよ。はい。しかし、全ての人に自由選択が与えられています。それだけ神の目には、人が特別だということです。

人には選ぶ能力があるのです。ロボットではありません。

ですから、ここでイエスは、高慢でごり高ぶった人たちに対して言うておられます。

「わたしは、ここでピエロにはならない。あなたがたは、ここでショーは見ない。今日、ここでの“ミラクルナイト”の手ケットなどない！救われたいなら、あなたが信じなければならぬ。道はひとつ、真理はひとつ、いのちはひとつしかない。」

興味深いのは、彼らは、それほど特別ではない、と、彼らがそれを聞いた瞬間に、

救いは所属ではない、と彼らが聞いた時、

どうなりましたか？彼らは、彼に何をしましたか？

彼らは、彼をシナゴグの外へ引きずり出し、

よく聞いて！

15 家族、みんな誰もが顔見知りです。彼の親友たちもこの中にいたのです。彼らはイエスを町の外の丘まで引きずり出して、そして、今にも彼を処刑しようとしたのです。私が何を言っているか、分かりますか？
彼らの親友の一人を、公に処刑しようとしたのです。
なぜか？それは、イエスが図々しくも、苦々しい真実を暴露したからです。
生まれながらに新生することは出来ない。新生するためには、新生しなければなりません。そういうことです。
肉における誕生は、神の御国に対しては、何の意味もありません。
今から私が言う事は、皆さんには、奇妙に聞こえるでしょう。
あなたが受胎した瞬間、誕生ではありません、受胎です。受胎した時、既に生きていますから。



胎児

あなたの名前が、いのちの書に記されています。そういうことです。
そして、何であれ、胎から出ていないものを、殺しているクリニックは全て、神が存在を意図されたことに、基本的に介入しているのです。
そして彼らは、いのちの書からそれを消しているのです。
地球上の誰にも、誰かの名前をいのちの書から消し去る権利などありません！神だけです！
ただ、皆さんに言いたいのは、イエスが彼らに言うおられるのは、
「確かに、いのちの書がある。しかし、あなたが自身のために言うておく。
あなたがたが、永遠のいのちに入りたければ、あなたがたの名前がいのちの書に記されているだけではダメだ。小羊のいのちの書に、書かれていなければならない。」
ところで、小羊のいのちの書は、皆さん全員に啓示しますが、
誰一人として、決して、そこからあなたの名前を消し去ることは出来ません。
「ちょっと待って！もし私が死んだらどうなるの？」
あなたは、よみがえります。死は、何も意味しません。
あなたが、イエスを信じると決心した瞬間、あなたが新生した瞬間、
あなたの名前は今や、天国へのパスポートを発行する代理店に移動します。
そして、あなたの名前は、そのデータベースに加えられ、それで終わりです。
それは、永遠の永遠に消されることはありません。
ですから、あなたが誕生したという事実、あなたの名前が、この「いのちの書」に記されているという事実は、必ずしも、あなたの名前が小羊のいのちの書に記される、という意味ではありません。
それを可能にするためには、その途中に、もう一つの誕生が必要です。
まさにここで、彼は、彼らにまっすぐ言いました。
「ただ、ユダヤ人だというだけでは、足りない。」
素敵な事ですよ。たくさんの特権がある。
パウロは、ユダヤ人にはたくさんの素晴らしい利点がある、と言いました。
しかし、イエスがこう言われたのは、ユダヤ人に対してです。

6 …「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。

(ヨハネ 14:6)

人間には、一度死ぬことが定まっています。

しかしそれから、よみがえりがあり、その後、審判があり、裁きが来ます。

裁きを逃れる唯一の道は、小羊のいのちの書に名前が記される事です。

小羊のいのちの書。

天国には、たくさんの書があるのをご存知ですか？

聖書には、ヨハネが天国に行った時、“数々の書物”が開かれた、と書かれています。

何の本なんだろう、見た目はどんなだろう、と私は考えてみました。巻き物なのかな？とか。

私の名前は、どんな風に見えるんだろう、と思います。その隣に、何があるんだろう、とか。

ところで、皆さん、今、聞こえているのは、F-16の音です。私達の頭上を飛行しています。

私達のすぐ後ろは空軍基地で、我々が用事を行う時にここから離陸します。

でも、今は、私達は何も行いません。

私から話しておきましたから、ここでバイブルスタディーをしていることを彼らも知っています。(笑)

皆さん、結論です。

皆さん、結論はこれ。(トラックのクラクションの音)

サンキュー。(笑)

私達が学んだのは、私達は選ばなければならない、ということ。

ところで、彼らは、今にもイエスを処刑しようとしたが、彼らには、出来ましたか？

彼らには、可能でした。彼らは、行いましたか？いいえ。

なぜなら、イエスは、彼らの間を、ただ歩いて行かれましたから。

ところで、彼は、彼らのことを非難したり、罰したりされませんでした。

イエスは、彼らが盲目にされている事に気付いておられました。彼らは見えなかった。

十字架の上でさえ、彼は言われました。

34 …「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」

(ルカ 23:34)

それが悲しいことに、あまりにも多くの異邦人たちが教会に行って、彼らは真理を聞き、神の御言葉を聞いています。毎日、毎週、毎月、毎年。

彼らは知っているのです。彼らには知識があります。しかし彼らには、情熱がありません。

それに対して、ユダヤ人たちは情熱があるのです。しかし彼らには、知識がありません。

ローマ書は、告げています。

3 …自分自身の義を立てようとし…

(ローマ 10:3)

そこで今日、私は祈ります。私達全員で、一緒に祈りましょう。私達は、自分自身の義を立てないように。

私達は、自分自身の義を立てないようにしましょう。それは、絶対に上手くいきません。

私達は、イエスが十字架の上で完成して下さった業を信じなければなりません。

私達は、第一に、私達は罪人であることを認識しなければなりません。

そして救い主が必要である、と。

ユダヤ人であるだけでは足りません。カトリック教徒であるだけでは足りません。正統派であるだけでは、足りません。ムスリムの人には、悪い知らせというより、良い知らせがあります。それだけでは足りません。

あなたが、どの宗教に属しよう、と、決して十分ではありません。

あなたは、イエスを信じなければなりません。

イエスが、道であり、真理であり、いのちです。イエスを通してでなければ、だれひとり父のみもとに行くことはありません。（ヨハネ 14:6）

そして今日、もう一度、皆さん全員をお招きします。どうか、イエスを受け入れてください。あなたの名前が、小羊のいのちの書に記されていないことが後で分かるなんて事にならないように。数々の書が開かれます。

誰の名前がそこに書かれているのか、確認する為に、数々の書が開かれるのです。

私たちがパスポートを持って天国へ行った時、すでに小羊のいのちの書に書かれている名前と、それが合うようになっています。

私たちは、それが実現するように、それを行います。時間は短い、その日は近づいています。

そして私たちは、全てを見ている世代です。

信じられません。私達は、ナザレにいて、イスラエルの旗がなびき、空には、F-16 が飛んでいるのです。

皆さんは、昨日、シリアとレバノンを見ました。これから皆さんは、エルサレムを見て、マサダを見て、死海を見て、他にも、たくさんの場所を訪れます。

イスラエルは故国へ戻りました。

ネヘミヤは正しかった。

「天の神ご自身が、私たちを成功させてくださる。しかし他の全ての者には、この地の中に何の分け前も、権利も、記念もないのだ。」

彼らは、それがあると主張しますが、彼らには、ありません。

最終的には、神が決定権を握っておられます。

お父様。あなたの御言葉に感謝します。また、ここに立って、ナザレの町を見ることが出来、感謝します。そこがナザレと呼ばれた事は偶然でなく、それは、ここで育った方に関連しています。

「נָצַר ne·tzer/枝」

捕らわれ人を自由にし、盲人の目を開き、足のなえた人が歩くようになるために来られた方。

彼は、世界のひかりです。

今日、私たちは祈ります。私たちの人生の中で何か、まだ、彼を主であり救い主として、完全に受け入れることを妨げているものがあるなら、何であれ、私達の名前が、小羊のいのちの書に記される事の妨げとなっているものがあるなら、今日、お父様、どうか、飛行機の飛ぶ音を聞き、世界中で起こっていることを聞いていると、時間は迫っています。

そして、私達が集められて、あなたの元に行く時が、ものすごく近づいているのが分かります。

ですから私達は、イエスの御名によって祈ります。最後まで忠実でいられますように。

イエスの御名によって。アーメン！

アーメン！

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

ナザレの町を背景に：動画より

ネツェルのヘブル語表記：牧師の書齋

ナザレのヘブル語表記：Wikipedia「ナザレ」

受胎告知教会：Wikipedia「受胎告知教会」

胎児：Wikipedia「胎児」